

上半期ベストセラーTOP10、その内容と特徴

◆17年上半期ベストセラーの1位はエッセイ「九十歳。何がめでたい」

出版取次大手のトーハンは2017年6月に上半期のベストセラーランキングを発表した。このランキングの上位10冊の概要は以下の通りである。

1位の「九十歳。何がめでたい」は週刊誌「女性セブン」に連載されて大人気だったエッセイを加筆修正し、出版したもの。歯に衣着せぬ語り口がテレビでも紹介されて話題となり、中高年女性を中心に支持された。2位の「騎士団長殺し」は人気作家の4年ぶりの書き下ろし小説、初版は2巻合わせて130万部を印刷した。3位の「蜜蜂と遠雷」はピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命を題材とした青春群像小説である。本屋大賞、直木賞を受賞した評価の高い作品であり、音楽の描写が優れていると評判になっている。4位の「ハリー・ポッターと呪いの子」は人気シリーズの19年後を描いた舞台劇を書籍にしたものであり、舞台劇にちなんで脚本形式で編集されている。

5位の著者は宗教家、6位と7位は每期何冊かランクインする健康や投資・蓄財関連の書籍。8位の「応仁の乱」は知名度こそ高いが、詳しい内容は一般によく知られていない応仁の乱を概説した。9位の「君の臍臓を食べたい」は本屋大賞2016第2位となり16年上半期からベストセラーにランクインし続けている人気作、10位の「コンビニ人間」も16年上期に芥川賞を受賞した話題作である。

日本出版販売調べ2017年上半期ベストセラー（総合）

順位	書名	著者	ジャンル
1位	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子	エッセイ
2位	騎士団長殺し（1・2）	村上春樹	小説
3位	蜜蜂と遠雷	恩田陸	小説
4位	ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部 特別リハーサル版	J. K. ローリング、 J. ティファニーほか	小説
5位	伝道の法	大川隆法	宗教
6位	どんなに体がかたい人でもベターッと開脚できる ようになるすごい方法	Eiko	健康
7位	はじめての人のための3000円投資生活	横山光昭	投資・蓄財
8位	応仁の乱	呉座勇一	歴史研究
9位	君の臍臓を食べたい	住野よる	小説
10位	コンビニ人間	村田沙耶香	小説

注：集計期間は16年11月26日から17年5月25日まで。
出所：日本出版販売。ただし、ジャンルはARCにて分類。

◆17年上半期ベストセラーの3つの特徴

①スロースターター：販売の立ち上がりが緩やかなものがある

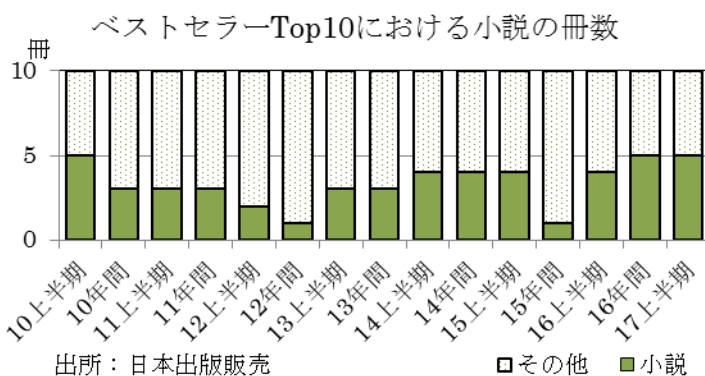
上半期ベストセラーTop10の第一の特徴は、販売の立ち上がりが緩やかなものがあることである。たとえば、「蜜蜂と遠雷」は発売4ヵ月後に、「応仁の乱」も発売4ヵ月半後に週間ベストセラーTop10に入り、以後、Top10をキープした。この2冊は、発売の翌週に週間ランキング1位になった「騎士団長殺し」や、芥川賞受賞後急きょ書籍として発行されて翌週のランキングで1位となった「コンビニ人間」と対照的である。

②販売部数を増やすためにマーケティングに工夫

第二の特徴は、マーケティングの工夫である。たとえば、「応仁の乱」は名前や起きた年は知っていても、内容を説明できる人は少ない応仁の乱の魅力をWEBやSNSを使った話題の拡散や、関西地方版に限定した新聞広告などで丁寧なエリアマーケティングを行うことでアピールした。その努力がコアな歴史ファンを捉え、話題に遅れまいとする一般読者に関心が広がることで歴史を題材とした新書では異例の37万部を販売した。発行すれば毎回ヒットとなる作家の作品である「騎士団長殺し」でさえも、事前に内容を明かさないう秘密主義をとることで話題性を高め、全国の書店で発売カウントダウンを行うなどの販売努力を行うことで、発売後3日間で1・2巻合わせて48万部を売り上げた。

③小説が5冊ランクイン

第三の特徴は、「ハリー・ポッターと呪いの子」も小説とみなすと、16年通年に続いて小説が5冊ランクインしたことである。その5冊は、熱狂的読者を持つ作者や人気シリーズもの、残る3冊は有名な賞を受賞した質の高い作品だった。



日頃忙しい人でも夏休みは読書の時間を比較的取りやすい。上半期ベストセラーの中から気に入った本を読んではどうだろう。読む本にお悩みの方には、「音楽が聞こえる」ような描写と評価される「蜜蜂と遠雷」か、「人間関係が複雑で迷宮のような深みが面白い」といわれる「応仁の乱」をお薦めする。 【藤井和則】